

東洋大学 2021年秋期 オープン講座

災害時の子どもの居場所 意義と作り方

災害時、子どもたちは住み慣れた家や地域を離れて避難所などでの生活や被災した家屋での不自由な暮らしを余儀なくされます。そのような中で、子どもたちにとって安全・安心な居場所である「子どもにやさしい空間」を設置することは、子どもたちの心身の回復や日常生活をいち早く取り戻すことにつながります。「子どもにやさしい空間」をどのように設置し、運営できるのか、準備や活動の計画、空間デザイン、居場所での子どもたちとの関わり方などを学びます。災害時だけでなく、平時の子どもたちの居場所を運営している団体や個人の方々にも役立つ内容です。その考え方・設置・運営の具体的な方法、子どもにとって最も自然な表現方法である「遊び」を通して子どもの心のケアをおこなう方法を実践的に学びませんか？

講師紹介：湯野貴子氏 加藤カヨ氏

(NPO法人 災害時こどものこころの居場所サポート)

コーディネーター：森田明美 (社会学部社会福祉学科教授)

災害や事故は、子どもたちから一瞬にして「日常」という“心の支え”を奪います。「子どもにやさしい空間」は、不安や様々な危険にさらされる子どもたちが、安心して安全に過ごせる居場所を提供する活動です。

1.開催日時:2022年2月12日(土) 【10:00~13:00】

2.実施会場:東洋大学白山キャンパス 甫水会館

3.受講料:無料

4.申込期間:1月10日(月)~2月6日(日)

主催:東洋大学社会貢献センター

後援:社会福祉法人 文京区社会福祉協議会(申請中)・公益財団法人 文京アカデミー

お問合せ先:03-3945-7635(東洋大学エクステンション課)



申込はこちら